

三 国際経済統計会議

「国際経済統計会議報告」……………四七九

四 外国人待遇に関する国際会議

「外国人待遇ニ関スル国際会議経過調書」……………五三七

五 関税引上げ休止会議

1 「関税引上休止ニ関スル国際会議議事経過報告書」……………七三九
2 「経済協調第二回会議経過報告書」……………八三七

六 為替手形、約束手形及び小切手に関する法律統一国際会議

1 「為替手形約束手形及小切手ニ関スル法律統一ノ国際会議報告書」……………八五七
2 「為替手形約束手形及小切手ニ関スル法律統一ノ第二回国際会議報告書」……………九〇三

収録報告書項目一覧表

一 ジュネーヴ経済会議

1 「国際経済会議（一九二七年五月四日―二三日
「ジュネーヴ」ニ開催）ノ由来及其ノ経過」

昭和二年五月二十五日

国際經濟會議（一九二七年五月四日―二三日
「ジュネーヴ」ニ開催）ノ由来及其ノ經過

外務省条約局 第三課

注意

本調書中第三項經濟會議本會議ノ經過ニ関シテハ僅ニ十余通ノ電報々告アリタルノミニテ會議ノ決定又ハ勸告ニ関シテハ単ニ其ノ項目位ヲ知り得ルニ過キス
會議ノ報告ハ至急郵送セラルル筈ナルヲ以テ之カ到着ヲ待チテ更ニ詳細ナル調書ヲ作成スヘシ

目次

第一項	序説
第二項	由来
第一	第六回聯盟總會及第三十七回聯盟理事會ノ決定
第二	第一回準備委員會
第三	第二回準備委員會
第四	第四十三回理事會ノ決定
第三項	國際經濟會議ノ經過
第一	開會、露國ノ参加、議長及副議長
第二	議題第一部一般問題
一	志立委員ノ演説
二	支那委員ノ演説
第三	委員會及分科會ノ構成
第四	農、商、工三委員會ノ報告及總會議ノ右報告可決
第五	經濟會議決議実行問題
第六	異レル經濟主義ヲ執レル國ヲ如何ニ調和セシムヘキヤノ問題ニ関スル決議案
第七	閉會及閉會當日ニ於ケル志立委員ノ演説
第八	商工農各委員會ニ於テ我方委員ノ主張シタル諸点

第一項 序説

国際經濟會議ハ一九二五年ノ第六回聯盟總會ニ於テ仏国代表「ルーシュール」氏ヨリ發議セラレ一九二六年十二月ノ聯盟理事會ニ於テ一九二七年五月四日「ジュネーヴ」ニ開催スルコトニ決定シタルモノナルカ本會議ノ目的ハ世界經濟ノ情況ヲ調査シ一方現在ニ於ケル商工業不均衡ノ經濟的原因ヲ研究シテ之カ除去ニ努ムルト共ニ他方世界ノ平和ニ影響スヘキ經濟上ノ諸傾向ヲ探査シテ經濟的方面ヨリ世界ノ平和ヲ齎来セントスルニ在リ

本件經濟會議ニ関シ前記第六回聯盟總會ニ於テハ単ニ會議開催ノ準備委員會ヲ構成シ之ヲシテ先ツ十分ナル準備ヲ為サシメタル上聯盟理事會ヲシテ會議招集ノ期日等ヲ決セシメンコトヲ決議シタルモノナルカ此ノ決議ニ從ヒ先ツ準備委員會組織セラレ其研究ノ結果ニ基キ一九二六年十二月ノ聯盟理事會ニ於テ本會議ノ招集ヲ決定シ去ル五月四日ヨリ同二十三日迄ジュネーヴニ開催セラレタル次第ナリ

今次ニ其ノ由来及經過等ヲ述フヘシ

第二項 由来

第一、第六回聯盟總會及第三十七回聯盟理事會ノ決定

一九二五年九月ノ第六回國際聯盟總會ハ仏国全權ノ提案ニ基キ經濟會議ニ関シ大要左ノ決議ヲ為セリ

「總會ハ一般的繁榮ノ復活ヲ阻害スル經濟的困難ヲ研究シ此等困難ヲ除去シ紛争ヲ阻害スルノ最良ノ方法ヲ確立スルノ必要ヲ認メ

広汎ナル基礎ノ上ニ一ノ準備委員会ヲ組織シ之ヲシテ聯盟ノ專門機關及國際労働事務局ノ援助ヲ以テ一ノ國際經濟會議ノ準備事業ヲ為サシムルコトノ可否ニ付理事會ノ考慮ヲ求ム

而シテ同年十二月ノ第三十七回理事會ハ仏國ノ原案ニ基キテ一ノ決議ヲ為シ聯盟ノ經濟財政委員會及交通委員會ノ各代表者、商工業農業ノ關係專門學經濟學者労働代表者並消費者代表者等三十名ノ委員ヨリ成ル準備委員会ヲ開催シ右準備委員会ニ於テ國際經濟會議討議事項ノ内容ヲ檢シ之ニ大体ノ方向ヲ与フヘキモノトセリ

第二、第一回準備委員会

斯クテ右準備委員会第一回ハ一九二六年四月二十六日ヨリ五月一日迄「ジュネーヴ」ニ開催セラレタルカ委員会ハ一般討議ノ後(一)金融財政、農業、人口(二)生産(三)通商ノ三委員會ニ分チ広汎ナル調査ノ基礎項目ヲ作成セリ
會議ノ空氣ハ大体ニ於テ戦後ノ極端ナル保護政策ヲ廃シ國際共済及自由主義ノ方向ニ進ムヘキヲ是認セルカ論議ノ中心ハ自ラ為替不安定ニ由ル生産過剰ニ苦シム歐洲諸國ノ經濟的救済ニ集リ特ニ貨幣問題關稅政策工業生産ニ關スル協定等論セラレタリ

右委員会ニハ我國ヨリ森財務官参加シ常ニ交通問題專門家トシテ聯盟ノ交通委員會議長杉村公使列席セリ

第三、第二回準備委員会

第二回準備委員会ハ一九二六年十一月十五日ヨリ十九日迄「ジュネーヴ」ニ開催セラレタルカ本會議召集期日一九二七年五月四日其ノ議題ヲ左ノ通り定メテ之ヲ理事會ニ報告セリ

右準備委員会ニ永井佐藤ノ両公使出席セリ

(一)開催期近時諸國ノ財政金融上ノ安定及經濟上ノ變遷ニ鑑ミ經濟會議ハ一九二七年春開催スルヲ適當ト認メ五月四日開

催方理事會ニ提議ス

(二)會議代表及参加國代表ハ各國五名ヲ限度トシ政府之ヲ任命シ費用モ亦政府ノ負担ナレトモ其ノ資格ハ政府ノ正式代表者ニ非ス專門家ノ資格タリ

尚問題ノ複雑多岐ニ亘ルニ鑑ミ代表ハ官邸、學界、商工農金融労働等各方面ヨリ詮衡シ以テ會議全体トシテ之等各方面ヲ適宜代表セシムル趣旨ナリ尚代表ノ外專門家ヲ随伴シ得ルコトトス會議ニハ聯盟國ノミナラス世界經濟上重要ノ地位ヲ占ムル非聯盟國ヲモ招請ス

(三)議題ニ付テハ分科會ニ付議シ其ノ討議ノ結果ヲ綜合シ左記ノ如キ案ヲ作成セリ、右ハ諸般ノ問題ヲ概括シテ討議ノ中心タルヘキ点ヲ明ニスル趣旨ヲ以テ作成セラレ從テ財政金融及人口問題ハ特別項目トセス關係項目ニ於テ適宜討議セラルル等尚委員會報告ハ關稅及通商政策並ニ關係工業協定ノ二問題ヲ特ニ重要ナル問題トシテ指摘セリ

國際經濟會議々題

第一部 世界經濟ノ狀態

(イ)各國ノ見地ヨリ見タル世界經濟主要問題

(ロ)現時ニ於ケル商工業不均衡ノ經濟的原因探究

(ハ)世界平和ニ影響スヘキ經濟上ノ諸傾向

第二部

(一)商業

(1)通商ノ自由

(イ)輸出入ノ禁止及制限

(ロ)商業制限規則又ハ独占

- (ハ) 入国後ノ外国人及外国会社ノ經濟上及課税上ノ待遇
- (2) 関税及通商条約

- (イ) 輸出入税ノ性質

- (ロ) 税率ノ不安定ヨリ生シ又ハ税目ノ分類ヨリ生スル國際通商上ノ障礙

- (3) 自國通商航海保護ノ間接手段

- (イ) 直接又ハ間接ノ補助

- (ロ) 「ダンピング」防止法制

- (ハ) 運輸制度上ノ差別待遇

- (ニ) 輸入外国貨物ノ課税差別待遇

- (4) 購買力減退ノ國際通商ニ及ス影響

(二) 工業

- (1) 重要工業ノ情勢（生産能力、生産高、消費、労力）

- (2) 現在ニ於ケル工業悲況ノ実情並其ノ商業上及金融上ノ原因

- (3) 右対策(イ)生産ノ組織化特ニ工業上ノ協定（右協定ノ生産消費及労力ノ見地ヨリスル考究之ニ関スル法制並関税問題トノ關係）(ロ)工業生産ニ関スル統計情報ノ迅速ナル蒐集及交換

(三) 農業

- (1) 農産物ノ生産、消費、「ストック」価格及取引ノ自由ニ関シ戦前ト比較セル農業ノ現勢

- (2) 現在ニ於ケル悲況ノ原因

- (3) 國際的対策(イ)生産者及消費者ノ組織（各種産業組合制度ヲ含ム）ノ發達及國際的協力(ロ)農業情勢、科学及技術

上ノ研究農業金融等

ニ関シ必要ナル情報ノ組織的交換(ハ)農業購買力ノ増進

第四、第四十三回理事会ノ決定

一九二六年十二月ノ第四十三回聯盟理事会ハ前記經濟會議ノ提議ヲ採用シ一九二七年五月四日國際經濟會議ヲ「ジュネーヴ」ニ開催シ聯盟國ノ外米國、露國、土耳其、「メキシコ」、「エクアドル」及埃及ヲ招請スルニ決セリ

尚開催地ニ関シ右理事会ニ於テ和蘭外相ハ「アムステルダム」ニ開カレンコトヲ希望シタルモ經費及他ノ會議トノ關係上「ジュネーヴ」以外ニ開催スルコトハ不可能ナリトセラレタリ因ニ右討論ノ際英國外相「チェンバレン」氏ハ露國ヲ出席セシムル為メ瑞西以外ニ開催セントスル說アルモ右ハ惡例ヲ残スモノナレハ容認シ難シト論セリ

(註)露國カ後ニ急遽本會議ニ参加スルニ至レルコト後段記述ノ如シ

第三項 國際經濟會議ノ經過

第一、開會、露國ノ参加、議長及副議長

國際經濟會議ハ予定ノ通り五月四日ジュネーヴ、サル・ド・レフォルマシオンニ開會参加者ハ日英仏伊独露米ヲ始メ四十七箇國ノ委員二百余名、一九二六年十二月ノ第四十三回聯盟理事会ノ任命シタルチュニス（白耳義）氏議長トシテ之ヲ司会ス

(註)ソヴィエト聯邦ハ当初ヴォロフスキー暗殺事件ニ関スル瑞西政府ノ態度ニ嫌ラス經濟會議招請ニ対シテモ参加セサル旨聯盟ニ回答シタルカ其後伯林ニ於テ密ニ瑞西トノ間ニ交渉ヲ進メ遂ニ本件ヲ落着セシメ四月末ニ至リ急ニ經濟

會議參加ヲ決セリ右ハ寧ロ經濟會議ニ加ハラントノ底意ヨリ事件ノ解決ヲ急キタルモノナリトモ伝ヘラル
七日ノ會議ニ於テ議長ノ推薦ニ依リ我志立委員ノ外仏、独、澳、伯刺西爾、英、丁抹、米、伊、蘭、波蘭、露ノ各代表
計十二名副議長ニ選舉セラレタリ

第二、議題第一部一般問題

議題第一部世界經濟ノ狀態殊ニ各国ノ見地ヨリ見タル世界經濟主要問題ニ関シテハ各国委員ヨリ予メ書面ヲ以テ意見ヲ
提出シ會議ノ時間節約ノ為メ之ヲ印刷シテ配布スルコトニ決定シ居タルカ尚各委員ハ會議ノ当初簡單ニ其ノ意見ヲ陳述
セリ

右ニ関シテハ左ニ掲クル我志立委員及支那委員ノ演説ノ外未タ報告ニ接セス

一、五日我志立委員ノ為シタル演説要旨左ノ如シ

國際經濟會議ノ議題ハ世界全般ニ関スル問題ヲ含ム外主トシテ歐羅巴ニ関スル問題ト雖モ日本ハ之カ解決ニ協力ヲ吝
ムモノニ非ス歐洲ヨリノ輸入ハ日本總輸入ノ十七「パーセント」ヲ占ムルヲ以テ彼我ノ間ニ利害ノ関スル所多キヲ知
ルヘシ日本ハ其ノ天然資源貧弱ニシテ而モ人口稠密其ノ食糧及原料ノ輸入ヲ償フ為メ輸入原料ヲ有利ナル条件ヲ以テ
製造品トシ輸出スルノ必要ニ迫ラル是關稅障壁ノ撤廢通商自由ノ確保ヲ主張セサルヲ得サル所以ナリ
産業ノ振興ニハ一國生産力ニ有害ナル庄迫ヲ加フル租稅負擔ノ輕減ヲ第一義トシ歳出殊ニ軍事費ノ削減ハ通商障害除
去ノ第一着ノ手段タリ差別的關稅、人及貨物ノ不公平待遇ハ所謂經濟障壁ノ主要項目ニシテ各種ノ企業ヲ自由ナラシ
メ天然資源ノ開發ヲ計ルコト各国ノ任務ニシテ食糧及原料ノ公平ナル分配、交通ニ関スル平等取扱沿岸貿易自由ノ供
与、關稅障壁ノ撤廢、通貨ノ安定モ亦同様重要視スヘキヲ信ス且若シ歐米諸國ト東洋トノ間ニ生産消費ノ調整ヲ實現
シ得ハ經濟的繁榮及人類ノ幸福ヲ増進シ得ヘシ日本ノ占ムル特殊ノ地位ヨリ考フルニ支那ノ經濟界ノ混亂及南北抗争

ノ現状ハ各國殊ニ日本ニ採リ大ナル脅威ナリ日本ハ速ニ平和恢復シ支那ノ大資源開發セラレ各国カ華府條約ノ成果ヲ
享受シ極東ニ於ケル國際協力ノ増進セラレムコトヲ切望スルモノナリ米露兩國ノ會議參加ニ對シテハ日本代表ノ頗ル
欣快トスル所ナリ本邦最近ノ財界ノ危機ニ関シテハ本邦出發後ノ出來事ニ付詳細ヲ知ルヲ得サルモ我官憲及ヒ一部ノ
當業者ニ多少先見ノ明ヲ欠キタルハ遺憾ナラ之ヲ認メサルヲ得ス但シ我財界ノ現狀殊ニ大銀行ノ營業狀況ヨリ之ヲ推
測スレハ遠カラス財界ノ安定ヲ期シ得ルコト信シテ疑ハス但シ之カ為ニハ相當ノ反省ト熟慮ヲ要スヘシ要スルニ戰後
各国ノ保護政策、原料品ノ独占及人口ノ不当分布ノ三事實ハ世界平和ノ障礙ニシテ此ノ三点ニ関シ研究ヲ重ネ解決ノ
道ヲ講スルコト目下ノ急務ナリト信ス

二、六日支那委員ノ為シタル演説要旨

支那ノ欲スル所ハ保護貿易ニモ自由貿易ニモ將又國際的商業協定ニモ非ス實ニ其經濟的自主權ノ確立ニ在リ、支那經
濟及政治ノ不安定ハ右片務的束縛撤廢ノ遲延ニ基クモノニシテ列國カ未タ支那ニ華府條約ノ定ムル附加稅ノ實施ヲ許
ササルカ如キハ舊ニ支那ヲ各國商品ノ投売市場タラシムルノミナラス財政的ニモ困憊セシムル所以ナリ即チ中央政府
ハ地方各省ニ財政的援助ヲ与ヘサルハ勿論地方動乱ニ際シテモ鎮圧力ヲ欠キ其結果支那政界ノ不安定ヲ助長シツツア
リ支那經濟的自主權カ確立セサル限り其豐富ナル資源ハ開拓シ得ラレス蓋シ右開發ハ資本ヲ必要トスルニ拘ラス外国
資本家ハ支那ノ不安ヲ惧レ又支那政府及國民ハ外国資本ノ背後ニ国旗ノ追從シ來ルヲ惧ルルヲ以テナリ尚支那國民購
買力ノ増進並ニ失業問題ノ解決モ亦稅權ノ回復ト密接ナル關係アリ支那ハ茲ニ其經濟的自主權確立ノ希望ヲ表明シ支
那ニ利害關係ヲ有スル外國商人カ其現狀ニ妨害ヲ与ヘ居ルノ事情ニ鑑ミ特ニ今回ノ會議ニ訴フル次第ナリ

第三、委員會及分科會ノ構成

會議ハ九日ヨリ委員會討議ニ入り商工農ノ三委員會ヲ設ケ商農兩委員會ハ更ニ三分科會ニ分ル各委員會及分科會我方委

員左ノ通

商業委員会（志立、上田、佐藤（公使）三委員）

第一分科会（通商ノ自由）佐藤公使

第二分科会（関税及通商条約）上田委員

第三分科会（通商航海保護方法）志立委員

工業委員会（斯波委員）

農業委員会（佐藤博士）

第一分科会（農業一般問題）佐藤博士

第二分科会（産業組合）蓮見書記官

第三分科会（農業信用）佐藤博士

第四、農、商、工三委員会ノ報告及総会議ノ右報告可決

農業委員会ハ十六日商工兩委員会ハ二十日孰レモ討議終了本会議ニ提出スヘキ報告及決議案ヲ作成本会議ニ提出シタルカ本会議ハ二十一日右三委員会ノ報告及決議案ヲ審議シ全部之ヲ可決セリ但シソウエイエト代表ハ決議中ノ或ルモノニ付棄権又ハ反対投票ヲ為セリ右決議案ノ項目左ノ通

一、商業委員会

(1) 通商ノ自由

(一) 輸出入ノ禁止制限

(二) 国家企業及私企業ノ均等待遇

(三) 国際通商ニ関スル法規

(四) 外国人及外国会社ノ待遇

(2) 関税率

(一) 関税率ノ簡單化

(二) 税目ノ統一

(三) 関税率ノ安定

(四) 関税率ノ適用

(五) 関税手続

(六) 通商ニ関スル統計

(3) 通商政策及通商条約

(一) 関税率ノ引下

(二) 輸入貨物ニ課セラルヘキ内国税

(三) 輸出税

(四) 通商条約

(4) 国内商業及国内航行ノ間接的保護方法

(一) 直接及間接ノ補助金

(二) ダンピング

(三) 国際交通上ノ差別的待遇

二、工業委員会

(1) 工業ノ合理化（ラシオナリザシオン）

(2) カルテル

(3) 工業上ノ情報交換

三、農業委員会

(1) 一般決議

(2) 特別決議

(一) 農業上ノ協力即チ産業組合及消費者組合間ノ關係

(二) 農業信用

(三) 動植物病ノ防遏

(四) 植民地ノ農業

(五) 森林

(六) 農業上ノ文書蒐集統計及調査

尚右決議案ハ孰レモ勸告ノ形式ヲ採リ居レリ

第五、經濟會議決議事項実行機關ノ構成

本件実行機關ヲ設置スヘシトノ儀ニ関シ二十三日午後ノ經濟會議ハ之カ設置ノ必要ヲ認ムルモ今直ニ本機關ノ構成ニ関シ何等ノ提案ヲ為スコトナク唯經濟會議ノ準備事業カ整備セラレタル点ニ関シ聯盟理事会ノ注意ヲ喚起シ會議決議事項ノ実行ニ付テモ違算ナカランコトヲ希望セリ
当日採択セラレタル決議左ノ如シ

「本會議ハ第一ニ聯盟ノ經濟機關ノ事業カ頗ル価値アルモノナルコトヲ認ム會議ノ成功ト否トハ一ニ繋リテ其定メタル原則ノ実行如何ニ在リ而シ會議勸告実行ノ措置ニ付テハ実行常設機關ニ関シ何等ノ提議ハ為ササルモ唯本會議ノ準備事業カ頗ルヨク整備セラレ居タル点ニ関シ聯盟理事会ノ注意ヲ喚起スルヲ以テ最善ノ方法ナリト信ス」

第六、異ナレル經濟主義ヲ執レル国ヲ如何ニ調和セシムヘキヤノ問題ニ関スル決議案

今回ノ經濟會議ニ勞農代表ノ参加セル事實ハ一般ニ頗ル興味ヲ以テ迎ヘラレタル処會議劈頭ヨリ根本的ニ相異ナレル經濟主義ヲ執レル国ヲ如何ニシテ調和セシムルヤノ点ニ関シ議論アリ勞農代表ハ此両主義ヲ執ル国カ互ニ其ノ執レル經濟主義ヲ捨ツルコトナク而モ相協力センコトヲ求メ幹部会ニ於テ種々議論ノ末左ノ如キ形式ノ決議案ヲ採用セリ

「本會議ハ絶対ニ政治問題ニ触ルルコトナクシテ世界通商ノ更新ヲ図ルノ必要ナルヲ思ヒ經濟主義ノ異レルニモ拘ラス一切ノ国力参加シタル事實ハ各国間ニ於ケル通常上ノ平和的協力ノ吉兆ナリト認ム

ソヴィエト共和国聯邦ノ委員ハ附屬目錄ニ記載セラレタル諸決議ニ賛成ナルコトヲ宣言シタルモ其ノ他ノ決議ハ同聯邦ノ拘束セサルコト勿論ナリトス」

（註右目錄ナルモノハ報告末着ニテ不明ナリ

第七、閉会及閉会当日ニ於ケル志立委員ノ演説

經濟會議ハ二十三日午後閉会シタルカ數十頁ニ亘ル長文ノ決議及勸告ヲ採択セリ右ハ報告ノ郵送ヲ待ツテ更ニ記述スヘキコトトシ茲ニハ閉会当日ニ於ケル我志立委員演説ノ要旨ヲ掲ク

「余ハ本會議三週間ノ努力カ人類共同ノ目標ヲ明ニシ世界經濟關係ノ新紀元ニ向フノ途ヲ示シタル幾多重要ナル決議及勸告ニ到達シタルコトニ対シ滿腔ノ祝意ヲ表ス吾人ノ討議セル問題ノ多数ハ歐洲問題ナリト雖モ之カ結論ハ多ク我等

ノ希望及提案ニ合致シ以テ世界連帶ノ事實ヲ一層明ニセリ尤モ吾人ハ人口分配ノ問題並ニ資本貨物及人ノ移動ノ自由ノ問題ヲ解決スルニ非サレハ吾人最終ノ目的ニ達セリトハ言ヒ難カルヘク此等ノ問題ハ共存共榮ノ精神ヲ以テ之ニ當ラハ之カ解決必スシモ困難ニ非スト信スルモノナリ
吾人当面ノ急務ハ本會議ノ決定及勸告ノ即時且具體的ナル実行ナル処之カ為ニハ現存諸機關ノ利用及非聯盟國ノ完全ナル協力ノ二点ニ留意スルコトヲ要スヘシ日本代表ハ右諸決議ノ原則ヲ自國ニ普及セシメ以テ輿論作興ノ運動ニ全力ヲ以テ参加セントス最後ニ聯盟經濟機關及本會議々長其他ニ深甚ナル謝意ヲ表ス」

第八、商、工、農各委員會ニ於テ我方委員ノ主張セル諸点

各委員會ニ於テ我委員ノ主張セル諸点左ノ如シ

- (一) 商業委員會ニ於テハ(イ)關稅引下ケヲ力説シ其ノ実行ニ關スル方法ヲ指示シ(ロ)關稅ニ關スル最惠國條款ノ適用ヲ求メ趣旨ニ於テ委員會ノ贊同ヲ得(ハ)「ダンピング」取締方法ニ關シ主張スル所アリ決議案中ニ採択セラル
 - (二) 工業委員會ニ於テハ(イ)天然資源ノ自由開放及原料品ノ合理的使用方法ニ關シ後者ハ決議案中ニ採択セラレ(ロ)工業品規格ノ國際的統一ヲ主張シ是亦決議案中ニ加ヘラルコトナレリ
 - (三) 農業委員會ニ於テハ低度農業教育ノ普及ヲ計リ生産ノ増加ヲ計ルコトヲ主張シ其ノ趣旨ハ決議案中ニ採択セラレ産業組合ノ國際協調ニ關スル提議亦採択セラレタリ
- 他國委員ノ提案ニ係ル農業簿記ノ統一蒐集及ヒ農業「センサス」ニ關シテハ簡單ナル形式ヲ採用スヘキ旨ヲ勸告シテ其ノ趣旨採用セラル

一 ジュネーヴ經濟會議

2 「國際經濟會議報告書」